



陳言コラム-24
中国雑談

日韓を超える中国企業の高級管理職の給与

国内大企業に勤務している友人は、着ている服などから見てすっかり数年前と異なり、着こなしている背広は、世界的なブランド物で格好いい。別に腐敗できるポストにいるわけではなく、腐敗とは縁が遠い。ただし、近年の給料は年々上がり、50代そこそこで手取り50万円はくだらないので十分ブランド物を買えるようになっている。

中国では給料の上げ方は日本の1960年代、1970年代に似ているのではないかと思う。高級管理職にいる人はもっといい給料をもらっている。英『フィナンシャル・タイムズ』4月29日付の報道によれば、リサーチ専門企業のウィルス・タワーズワトソンがアジア太平洋地域の5500社の企業に調査を行ったところ、中国大陸の企業の高級管理者の給与レベルは、すでに日本、韓国、台湾を超えていることが分かった。

2014～2015年度、中国大陸地区における企業の高級管理職の年間平均給与は12万5260ドルであったのに対し、韓国は12万766ドル、日本は11万7433ドル、台湾はわずか7万7431ドルであった。また、2015～2016年には、中国とその他の国・地域の企業の高級管理職給与との差はさらに拡大し、中国大陸地区は13万1987ドルで、韓国は12万942ドル、日本は11万8721ドルであった。

この調査で定義された企業の高級管理者とは、大型グローバル企業役員会などのレベルより下の部門責任者、中～大型企業のCEOと責任者である。

このリサーチ企業のアジア太平洋地域データサービス部門の責任者 Sambhav Rakyan 氏は、中国では高級管理職の給与がこれほど高くなってはいるものの、企業は依然として企業レベルをアップさせることのできる人材を探し出すことは極めて困難であると考えている。中国の優秀な高級管理者は基本的にシンガポールや香港で同じようなポストを獲得でき、またこの2つの場所の高級管理職の給与はさらに高く、アジアのトップを行くばかりか、アメリカの平均レベルさえも超えている。

別の階層においては、中国企業の初級管理者と専門技術者の給与レベルは依然として日



本、韓国、台湾よりも大幅に低いものの、SASEAN 諸国のいかなる国よりも高く、これも多くの企業が生産拠点を中国から移転させようとする一つの背景となっている。

元為替はさらに高くなれば、後数年で現地雇用の従業員に駐在スタッフより高い給料を支払うようになるかもしれない。それで中国に給料の安い駐在員をどんどん派遣する日はもう遠くないだろう。外資系企業で職業訓練を受けてから国内企業にとらば一ゆするという現象がこれから少しずつ増えるだろうと思われる。